



平成30年10月25日

第54号

さくほ

2018⑨

議会だより



佐久穂小学校運動会 来入児のかざぐるま

発行：佐久穂町議会
議長：小宮山 雅則
編集：議会広報編集調査特別委員会
〒384-0697
長野県南佐久郡
佐久穂町大字高野町 569
TEL.0267-86-2556
印刷：(有)東城印刷佐久穂営業所

さくほ議会
Facebookもチェック
さくほ議会



9月定例会

(仮称) 道の駅用地の取得費
1億4505万円余

旧臼石荘借用地の取得費
1935万円余…… P2・3

平成29年度決算

子どもにもわかりやすいさくほのお金 …… P4・5

一般質問 10名

町の農業振興策は
成人式の今後は ほか …… P6～12

9月
定例会

9月6日～9月20日

全議案 全員賛成で可決

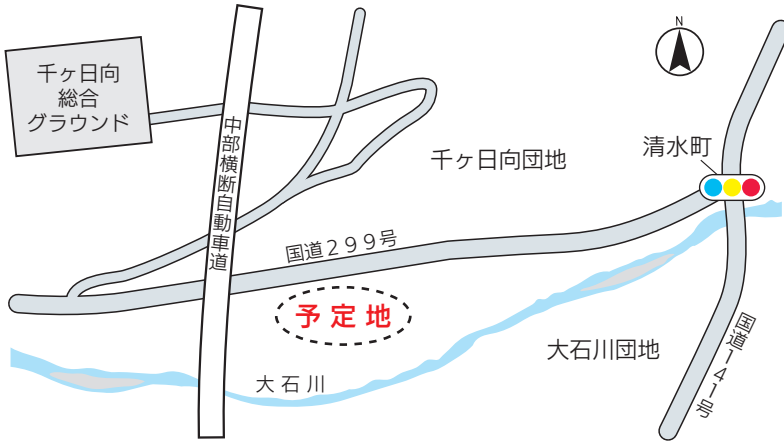
議案第66号

(仮称)道の駅用地の取得費

1億4505万円余

●地権者10名

1万7663㎡(約5355坪)



議案第67号

旧臼石荘借用地の取得費

1935万円余

●地権者9名

2万8974㎡(約87800坪)

認定 (29年度各会計)

●佐久穂町一般会計歳入歳出決算の認定

総額……80億9449万4千円

基金繰入……1億2600万円

●国民健康保険特別会計

14億1820万2千円

●介護保険特別会計

13億2677万4千円

基金繰入……1300万円

●住宅改修資金等貸付事業特別会計

903万2千円

●簡易水道事業特別会計

2410万6千円

基金繰入……90万円

●農業集落排水事業特別会計

7495万7千円

基金繰入……140万円

●住宅地造成事業特別会計

3431万9千円

●老人保健施設特別会計

3億7828万円

基金繰入……150万円

●索道事業特別会計

1億1848万7千円

●後期高齢者医療特別会計

1億3055万1千円

議案

議案第53号

佐久穂町の役場の位置を定める

条例の制定について

庁舎を新築するにあたり役場の位置を定める必要があるため

議案第54号

佐久穂町役場出張所設置条例の

制定について

八千穂福祉センター内に出張所を設ける必要があるため

議案第55号

佐久穂町特別職で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償条例の一部
を改正する条例の制定について

議案第56号

佐久穂町家庭的保育事業等の設
備及び運営に関する基準を定め
る条例の一部を改正する条例の
制定について

議案第57号

平成30年度佐久穂町一般会計
補正予算

2億1377万4千円を追加
82億8237万2千円とする

議案第58号

国民健康保険特別会計補正予算

6710万6千円を減額
12億9678万円とする

議案第59号

介護保険特別会計補正予算

1253万6千円を追加
13億9253万6千円とする

議案第60号

住宅改修資金等貸付事業特別会
計補正予算

5万円を減額
903万5千円とする

議案第61号

簡易水道事業特別会計補正予算

70万3千円追加
2540万3千円とする

議案第62号

農業集落排水事業特別会計補正予算

97万8千円を追加
7798万6千円とする

議案第63号

老人保健施設特別会計補正予算

140万4千円を追加
3億8965万6千円とする

議案第64号

後期高齢者医療特別会計補正予算

113万9千円を追加
1億3600万6千円とする

議案第68号

財産の無償貸し付けについて

ケーブルテレビ業務停止に伴う緊急対策として、難視聴地域の上地区に共同受信施設を建設。地元組合が設立された事により、無償で貸し付けを行い、安定的かつ良好な視聴環境を確保するものです

議案第65号

病院事業会計補正予算

常勤整形外科医着任による収入増
1491万8千円を追加
18億1366万8千円とする

承認

承認第10号

平成30年度一般会計補正予算

茂来館 空調設備熱交換器交換
680万4千円

承認第11号

保育園3園エアコン工事

933万8千円

諮問第2号

人権擁護委員候補者の推薦について

● 畠山 敏雄氏

全員賛成で承認されました。



決算審査意見書

1 未収金対策について

町税、国民健康保険税など未収金が発生している。公平な税制確立のため、早期に実態を把握分析し、法的措置を前提とした効果的な措置に努めてください。

2 借地の賃借料について

設置当初から賃借料が変わっていない。経済変動に伴い土地の価格も変動しているので、定期的に賃借料の見直しの検討を要望します。

3 町有施設の必要性の見直し

設置当初のもくろみからずれが生じた施設の維持が必要であるか、検討を要望します。（自然園周辺のマレット場など）

4 予算編成について

財源確保が厳しくなる中、適正な見積りの精査と執行見通しに留意し、事務の効率化をめざし経費の節減に努めてください。

5 支払い事務処理について

不用額が目立つ係がある。支出に関する事務処理の基準を設け、より一層適正な会計処理が行われるよう努めてください。

議会アンケート

ご協力
ありがとうございました

この度は「佐久穂町議会に関するアンケート調査」にご協力を頂き、誠にありがとうございました。頂戴しましたアンケートの結果やコメントは、今後の佐久穂町議会の方向性を決める上で、重要かつ貴重な資料、ご意見とさせていただきます。また議会改革を進めてまいります。

またアンケート返信用封筒に住所及び記名欄を記載いたしましたのは郵便法にもとづくものですが、個人情報保護は保護されています。当委員会の説明不足により、大変御迷惑をお掛け致しました事を心よりお詫び申し上げます。

今後も議員一同、町民の皆様のために尽力してまいりますので、よろしくお願い致します。

佐久穂町

議会改革特別委員会一同

平成29年度決算の詳細につきましては
広報さくほ 10月号 P4,5 又は佐久穂町ホームページ
(<http://www.town.sakuho.nagano.jp>)をご覧ください。



QRコードを
使うには？

App Store か google
playからQRコードリ
ダーをダウンロードし
そのアプリでコードを
撮って！



気になる佐久穂町の

借金と貯金

(一般会計) 平成29年10月時点

借金 町債

66億360万円

貯金 基金

76億9646万円

(町民1人あたり)
約59万1000円

10月現在
町民1万1227人で計算

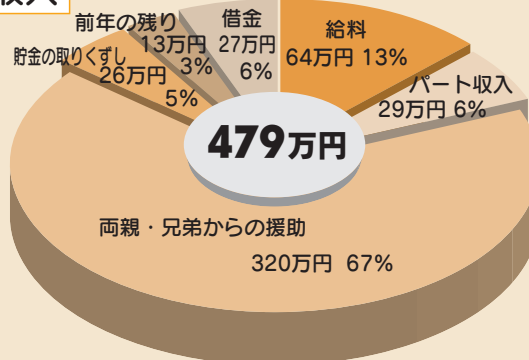
(町民1人あたり)
約68万5500円



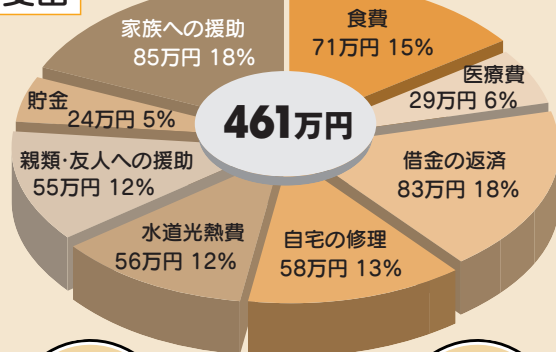
平成28年度の収入が500万円の家庭の場合

平成29年度の収入支出を
グラフで見ると？

収入



支出



借金残高
337万円

(平成29年決算時)

貯金残高
463万円

専用のさいふ

特別会計



スキー場のさいふ

① 1億1849万円
② 1億1545万円



介護保険用のさいふ

① 13億2677万
② 13億192万



千曲病院専用のさいふ

① 17億6398万円
② 19億5884万円

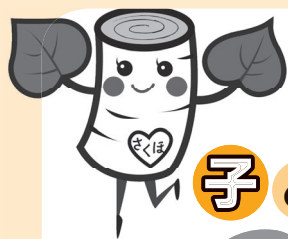


老人施設専用のさいふ

① 3億7828万円
② 3億7538万円



他にも5つの専用さいふがあるのよ



しらかばちゃんが解説!

平成29年度
決算

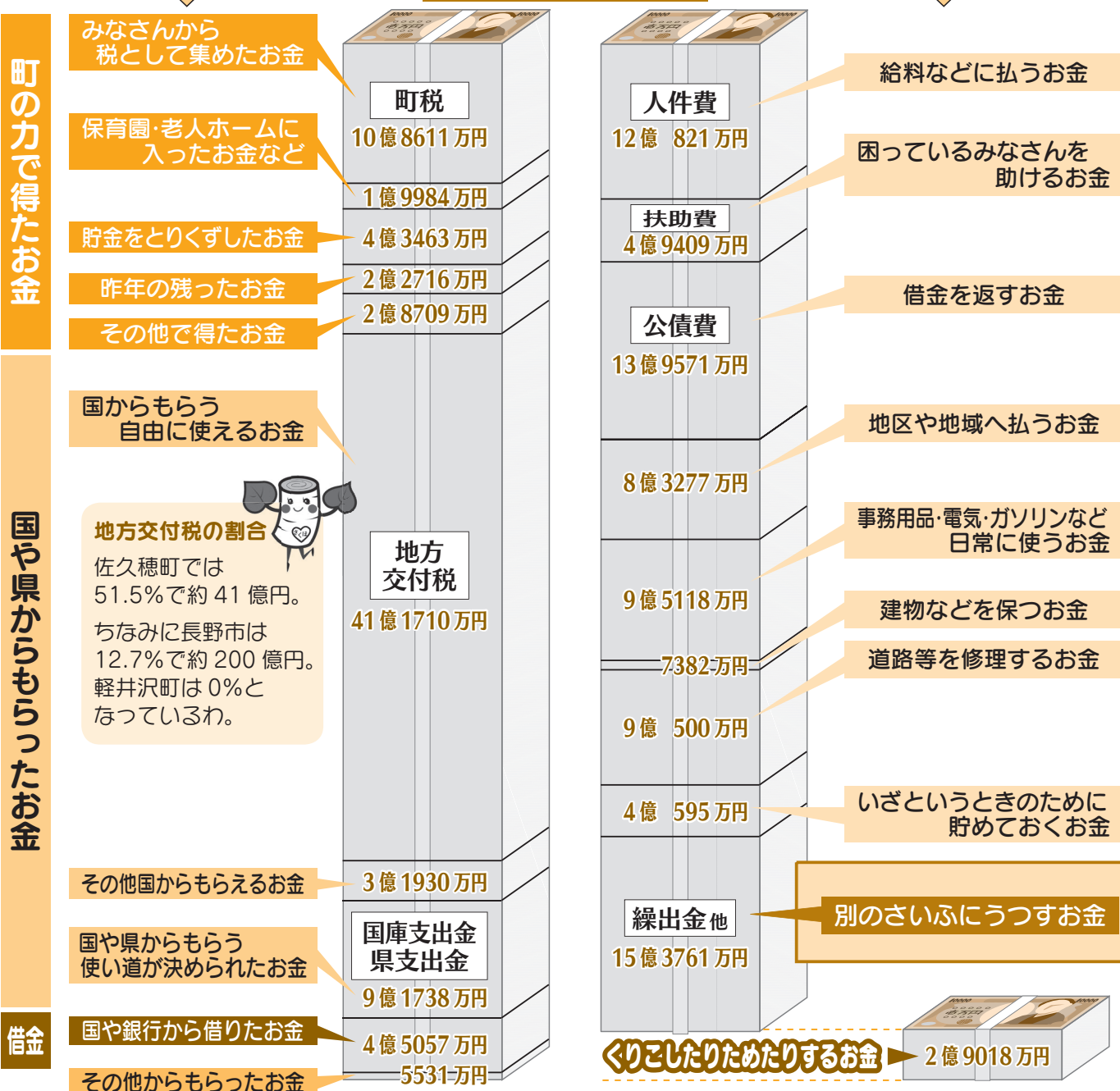
子どもにもわかりやすい

さくほのお金

ふつうの さいふ 一般会計

入ってきたお金
80億9449万円

使ったお金
78億434万円



今後の農業振興策を どう進めるか

出浦 修身



町長 花卉・果樹・野菜
など特産品の振興を

問 近年、町内各地に遊休農耕地や不耕作地が増えている。町はこれまで農業振興策で、何を重点的に進めましたか。

町長 生産基盤の整備や循環型農業の推進、特産品づくりなども取り組んできたが、特に農業担い手育成と有害鳥獣被害防止を重点的に取り組みました。

問 今後の農業振興策をどう進めますか。

町長 従来の政策にあわせ、引き続き花卉・果樹・野菜といった特産品の振興を図ります。また、中山間地直接支払事業や多面的機能直接支払事業も進めます。

問 町の施策により現在の農業生産が維持されている事は理解できるが、遊休農耕地は年々増加し、新規就農者もここ2〜3年少なくなってきた。従来

のやり方だけでは不十分では。産業振興課長 新規就農者については、どう案内すれば来て頂けるか機会を捉えて推進します。

問 国・県の新規就農支援は原則45歳まで。地域の専業農業者の後継者づくりでは難しく、子育て終了の55歳や定年の60歳まで町単独事業として就農支援策を実施できないか？

産業振興課長 町でも幅広い方に就農いただく様、55歳までの新規就農者に一回限りですが50万円の補助金を支給し支援しています。

意見 それは良い事ですが一回限りでは不十分。3年とか農業大学校への就学支援なども検討頂きたい。農業後継者の確保には、町単独の支援策や農山漁村振興交付金制度を利用した農業

基盤や就農環境の整備を進める事が必要です。町全体での検討頂きたい。

問 観光施設を民営化した時点での町の観光政策をどの様に考えていますか。

町長 これまで商工観光担当職員は直営の運営業務に忙殺され、本来の観光振興策の企画・調整・宣伝活動が十分できませんでしたが、今後は期待できます。

問 高速道路開通を活かす喫緊の課題にどう取り組みますか。

町長 高速道路網の整備により日帰り観光圏となり、通過型観光になってます。滞在型の展開には民営化による視点や「佐久穂町の将来の観光ビジョンを考える会」の検討を参考としていきます。

意見 観光振興は従来の延長でなく、観光協会事務局長に地域おこし協力隊員を募集するとか、道の駅建設に総務省のローカル1000プロジェクトの計画策定申請など検討頂きたい。総合政策課長 現時点で検討していませんが、検討し得ると考えます。



白駒の紅葉

国の方針にとらわれない 具体策は

高見澤 研二



町長 町の方針は尊重・勉強し、住民益を考え取捨選択しながら進めます

佐久穂インターチェンジ 設置の効果は

高橋 康徳



町長 開通と同時に効果は現れていると考えます

問 任期の折り返しを控えている今、次の4点について町長の所信を伺う。

問1 8月17日南牧村で開催された、佐久地域問題研修会は「地方行政の課題」と題した講演でしたが、町長としての感想を伺いたい。

町長 去る6月に閣議決定された来年度からの3年間、地方財政計画の一般財源総額が、これまでと同様の水準を維持することができた事で、ひとまず安心といつてよいかと思います。一方「早く競争力をつけるよ」と言われているようにも感じました。中長期的には安心していいれないと感じています。

問2 国の「経済財政運営と改革の基本方針2018」（骨太方針）の中身を見ると、さらなる合併への圧力も感じる。地に足をしっかり付けた、佐久穂町の独自性が必要だと思うが、具体的な施策は。

町長 骨太方針の多くは、国レベルの取り組みですが、国が方針を示したならばまずは尊重し、勉強します。そして今回の補正予算にR・P・A（ロボテック・プロセス・オートメーション）の試行運用経費を計上したように、町民益を考え取り入れるべきは取り入れる、取捨選択をしながら進めます。

総合政策課長 R・P・Aは、コンピュータの中で動くマクロに似たシステムで、パソコン内に導入したロボットが、決められた動きを繰り返す技術です。税務課での試行を検証していきます。

問3 佐久穂町総合計画の中の実施計画（活動計画）をローリングしながら、今後どのような具体的な成果・実績に繋げ

ていくか。

町長 就任以来、公約実現に向けて早いペースで実施計画から予算化し、施策を実行してきました。ハード面のみならず、ソフト面にも力をいれ、懸案事項を一步步つ進めていきます。

問4 まちづくりの思いや具体像を、職員や町民にどのように伝え、共有していくか。

町長 佐久穂町が生まれてから絶え間なく続いているお出かけ町長室、隔月で掲載している「広報さくほ」のコラムなどで、自身の考えを語り掛けるよう心掛けています。最近では、SNSの活用も検討しています。また、最も深く政策についてお話しするのは議会ですので、議会の傍聴や議会だよりのほか、議員の皆様から町民の反応をお返しいただく事で、相互の情報交換ができると考えます。



お出かけ町長室

中部横断自動車道について

問 開通に当たり町が負担してきたコスト及び将来的に負担していくコストは。

町長 佐久穂インターチェンジ設置については、国で工事を行い平成28年度から30年度までの3年間で、約2億7千万円を支払っています。取り付け道路として整備された町道の整備費は工事費・用地取得費等を含め約13億3千万円となっています。また佐久穂インターチェンジ維持管理費として、本年度9百万円を予算計上しています。

建設課長 インターチェンジ整備・町道整備で総額15億9千476万円であるが交付金、補助金また合併特例事業債等の交付税措置分等を勘案すると実質の町負担分は4億6千767万円余となります。

問 佐久穂インターチェンジ設置による効果をどう捉えているか。

町長 アクセス道路に関しては、殆どが町内業者の受注であり経済効果があったと考えます。また町内の利用者の8割が佐久穂インターを利用していると考えられます。

総合政策課長 多額の負担はあったが十分に設置の意義はあったと考えます。様々な施策で価値が高まるようにしていきたいと思っています。



佐久穂IC

災害対策に関しての考え方について

問 地震による倒壊家屋からの救出訓練また、そのための装備品を配備するべきではないか？

町長 訓練については来年度以降の課題とさせて下さい。

総務課長 装備品については消防団と協議をしながら考えていきたいと思っています。

問 水害対策用のゴムボートが近隣では北部消防署、佐久警察署それぞれ1台しか配備されていない現状である。町として装備したらどうか。

総務課長 佐久広域連合消防本部等関係機関と協議しながら対応を考えたいと思います。

問 大規模火災の発生についてどう考えるか？

町長 お盆に発生した火災と同様の火災が発生する可能性があるため、住民の皆さんに注意喚起が必要であると考えています。また防火服の装備について補正予算を含めて順次配備を進めます。

提案 規模の大きな火災の発生する可能性が町内各地で考えられるが、対応するための訓練を取り入れていったほうが良いと考える。佐久穂町地域防災計画もしっかりとした見直しをして、実効性のあるものにしてほしい。

この他、スマートフォンアプリを利用した観光振興策等について質問・提案させて頂きました。

地元居住で奨学金返済 一部免除を

井出 正臣



こども課長 様々な奨学金や新卒インターンも考慮した施策が考えられるのでは

白石荘の用地購入

問 購入の目的は。

町長 民間譲渡を模索する中で、借地であることが公募のネックになることが予想されるため購入する方向となりました。

問 一括売却すると、白石荘や吊橋までの進入に問題が生じる。

一部を町有地として維持する可能性はあるか。

総務課長 白石荘の事業用地以外については、ある程度町有地として維持せざるを得ないところが出てくると思われます。

新庁舎建設の業者選定

問 例規に則り、統合小中学校

学校にエアコン設置を

石井 正行

教育長 検討のための準備を始めました



現在の白石荘

建設時の入札参加基準を踏襲するか。

副町長 ご質問の案件は業者選定委員会が開催されており、発言することの一部の利益につながることから発言を控えます。

問 町の建設工事共同企業体運用基準によると、今回参加でき

る業者は1社となる。運用基準の第5条を勘案すべき機会ではないか。

町長 運用するかどうかは、今後検討していきます。

新卒者の地元就職

問 佐久市では市の奨学金基金で、市内居住で市内に限らず就職していれば償還金の1/3免除という規定がある。同等の施策はできないか。

こども課長 若年層の地元定着やUターンを促進するとなれば、様々な奨学金に対する制度設計が考えられます。地元出身者でなくても、インターンやJターンの若者定住に対する施策も考えられるのではないのでしょうか。政策条例の議員立案を希望します。

職員の副業

問 人手不足やNPO活動の多様化から、公務員の副業を解禁する動きがあるが町の考えは。

町長 一部で解禁されているのは承知しています。まずは公務員になった時の宣誓書の宣言に基づいて働くべきと考えます。

※佐久穂町建設工事共同企業体運用基準第5条 この運用基準によりがたい特別な事由があるときは、その都度町長の承認を得て、別段の定めをすることができるとある。

終わりの言葉 こども課長より

反問を受け、行政への要求ではなく議員立案の重要性を感じた。奨学金減免制度に限らず、条例改正案や新条例作成のために努力をしていきたい。

肺炎球菌ワクチン 接種の効果は

岡部 勝一

町長 定期接種導入後、県単位では効果が確認されていると聞いています



熱中症対策について

問 保育園・小中学校にエアコン設置は、こども課長 特別支援教室の4教室、音楽室の3教室、パソコン室の2教室、職員室、図書室、保健室、小諸養護学校の分教室、保育園では3園共に未満児保育室、3歳児以上の遊戯室に設置完了しました。

問 教育委員会の考え方、今後の計画は、**教育長** 検討のための資料準備、設置費や事業費がどれ位になるのか、その財源をどうするのかなどの検討のための準備を始めたところであります。財源について、国や県の動向を見ながら今後の計画を立てていきたいと考えています。

問 夏場の小学生の通学にヘルメットは逆効果では、

教育長 学校には通学ヘルメットの種類や着用についての検討をするようお願いをいたしました。

問 高齢者の熱中症対策は、

町長 町の熱中症対策の基本は、国・県と同様に予防の周知です。熱中症の危険性や予防方法等を説明しております。



食品ロスの削減について

問 町の取り組みは、

町長 各家庭において、ゴミの減量化の一環として家庭の食品ロスについても、啓発していきたいと考えています。

問 保育園・小中学校での取り組みは、**教育長** 保育園ではオリジナルの紙芝居等により、小中学校では給食だよりにより給食への関心や興味を持ってもらい残量を減らす取り組みをしています。

農地法の下限面積緩和について

問 現状（全域30アール）を全域10アール以上に、

農業委員会 農業経営者の高齢化や後継者不足、また専業農家から兼業農家が進展する中におきまして、農業委員会では、町の農業振興整備計画やその他の政策等で、町から要望等あればそれらも勘案いたしまして、農業者の農地集積など、効率的な経営に影響が出ないよう総合的に判断しながら、下限面積の見直しについて毎年慎重に検討していきたいと考えております。

問 住宅に付属した農地は1アール以上に、又、近年の検討状況は、

農業委員会 毎年一回以上検討しております。また、他のところ聞きますと、その時は1アール以上で取得しますけれど、その後、農業をやらなくなつてやめるケースも多いです。色々な状況を踏まえまして、農業委員会でも検討していくつもりであります。

農業機械の安全について

問 事故削減に町はどのような取組を、

町長 関係機関と連携し、事故が起きないように周知してまいる所存でございます。

問 肺炎は、日本人死因の3位にあげられる重大な疾患です。高齢になる程、重症化し死亡者も増えます。そこで平成26年度から5年間、高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種が、65才以上の対象者に制度化されました。導入後の現在の実情とあと半年程の対応をお聞きます。

町長 接種に伴うリスクもあり、御本人の意思を尊重したいが勧奨は続けます。

健康福祉課長 5年間の対象者の約半数2025人が今年7月末までに接種されています。未接種の方の確認がしづらく、慎重に検討したいと考えてます。

問 医療費削減の効果と推計はどうか、

町長 推計値は幾つかありますが、一人当たり、年4〜8万円の医療費削減効果が例示されています。町単位ではわかりませんが、県単位では確認されています。

健康福祉課長 高齢者の死亡原因は、直接要因の病名と関係しますが、肺炎で亡くなられた方は、増減はありますが、減少しています。予防接種の医療費効果もあると推察しています。

問 接種されていない方がまだ半数以上いる今、一人も漏れなく接種できる様に、対応していただきたい。

健康福祉課長 長崎

県の町で行った先行試験の数値が、当町にも当てはまると思えます。かなり期待できる効果です。



問 風疹患者が都市部を中心に急増している。厚労省はワクチン接種を検討してほしいとのことだが、町の対応は、

町長 厚労省から8月、注意喚起がされました。特に妊婦を守る観点から、妊婦の夫、子どもを含む同居家族等となっております。当町では年度末で20才以上、50才未満の方で、接種を勧められたり、抗価の低かった方へ、3千円の補助をしています。妊娠前や出産後もこの補助制度は利用可能です。

問 教育現場での「がん教育」の対応について、

教育長 がん教育の手引きから、健康と命の大切さ、健康管理、正しい知識を持つ教育の推進を、今後も進めます。

問 出前講座としてがん体験者の話、専門医による授業の導入も必要だが、

こども課長 学校保健医連絡会に、学校医は佐久病院、千曲病院から2名づつ又保健師、学校薬剤師、学校評議員、PTA役員などから話を聞き、検討を行っています。

問 中学3年生を対象に血液検査とピロリ菌の検査の実施を希望したい。

こども課長 実施の目的と、義務づけでないことを明確にし、検討したい。

問 災害時の安全と安心として備蓄品に液体ミルクの導入と、情報入手のWi-Fiが必要と考えるが、対応はどうか。

町長 液体ミルクは追加したい。

交通弱者対策、 どんな支援があるか

須田 良子



町長 新たな交通輸送の課題も出てくると考えておられます

やさしい町づくり

問 御意見箱は機能しているか。

町長 町民の声の箱は、佐久庁舎、八千穂庁舎、茂来館に設置しています。御意見は担当課への送付と理事者への報告となります。年に3から4件程度です。各課対応で可能なものは各課、全庁的なものについては、課長

会議、掲示板等で周知や対応をしています。

問 どんな御意見、要望があったか。

総務課長 電車の本数を増やしてほしい、遊ぶ場所をつくってほしい等の要望です。窓口で直接、また日当直者に電話での御意見等は、総務課に引き継がれ、

できるだけ早い解決をするよう対応しています。



町民の声専用ポスト(佐久庁舎)

問 役場窓口での接客について、改善策と今後の取り組みは。

町長 集合朝礼で親切で丁寧な対応に向け訓示し、課長会議において、課長、係長は窓口での職員対応に目を配るだけでなく、自分からも行動するよう指示したところです。全職員を対象とした接遇マナー研修を隔年で実施しています。全職員が受講す

るよう努めます。

問 交通弱者対策として、げん

でる号、福祉タクシー、遠隔地タクシーで対応できない利用者への対策について。一番に、透析患者さんと、町内の病院では対応できない患者さんに対して、なるべく経済的負担を少なくして、自分の行きたい病院へ行けるようにしてほしい。もう一つの支援を必要としているのは、げんでる号がうまく利用できない方、道が狭く、家の近くまで来てもらえない方、そして、げんでる号が運用されない日、時間帯に利用したい方への支援は、どんな支援が考えられるか。

町長 生活の足の確保、交通弱者に対する施策を整備してきましたが、超高齢化社会になり、地域や個々の世帯に置かれている実情も変化しており、新たな

交通輸送の課題も出てくると考えております。

健康福祉課長

人工透析を受けている方は増えています。幸いなことに医療費や交通費により生活が困窮しているというような方は、今のところ出てきていない状況です。地域包括ケアの進化を進め、地域の多様な個人や団体にも協力頂き、多様な取り組み、交通輸送サービスが構築していければと考えています。小海町で行っているタクシー利用助成事業は、予算の確保、げんでる号利用者減少による経営苦、また町の公費による支援の在り方等に問題があり、げんでる号との両立は困難と考えます。しかし、タクシー利用助成は住民の利便性の観点から大変優れていますので、地域包括ケア推進の中で、研究していく価値はあると考えます。

民間包括業務委託のメリットは

高見澤 春野



町長 スリムな行政運営、様々な住民ニーズに対応する原動力とすることです

町の農業振興策は

倉澤 治貴



町長 多面的機能支払交金制度の活用を推進しています

問 スクールバス運行を包括業務委託しのメリットは。

町長 国の方針に基づいたもので、臨時職員の町民雇用が継続でき、スリムな行政運営、魅力ある地域、住民ニーズに対応する原動力とすることを目的とします。

総合政策課長 今まで不足していた部分が補充されること、担当職員の負担の軽減で他の業務への時間が増えること、外部委託の契約事務の一本化で事務の軽減がされることが考えられます。

問 現地事務所をなぜ置かないのか。

こども課長 受託者の判断になります。

総合政策課長 町全体の雇用者が30人程になたときには設置する考えです。

問 運転手の休憩所の環境改善が必要と思われるが。

こども課長 受託者の責任において行わ



通学バスと休憩所

れるべきと考えています。受託者から話があれば協議の中で進めていく段取りになると思います。

問 現地責任者の常駐が必要ではないか。
こども課長 必要とあれば協議していきたいと考えています。

給食費補助の今後

問 一食百円の給食費補助の今後をどう考えているか。

町長 任期の4年間、安定して可能であれば続けていくべきと考えます。

道徳の教科化

問 道徳の教科化でどのような評価をするのか。

教育長 文科省は5点に留意し具体的な評価を示しました。

一、評価は数字ではなく記述式で行う
二、単元ごとの個々の内容ではなく大きなくりの中で行う。

三、他の児童生徒との比較ではなく、個人がいかに成長したかを受けとめ、励ますもの。

四、学習活動において多面的、多角的な見方へ発展しているが、道徳的理解を自分自身のかかりの中で深めているか。

五、児童生徒の取り組みを一定のまとまりの中で捉えること。

長いスパンでその子がどう成長してきたか見ていく評価の仕方です。

公共工事の発注及び監理について

問 当町において建設業は重要な産業の一つであり、公共土木事業はその大きな柱となっていて、その発注形態は公正かつ透明性が求められる。町の入札制度において、積算内訳の開示、最低制限価格の引上げ、積算に誤りがあった場合の対応は。

町長 建設工事入札契約情報公表要領に基づき、設計額250万以上の指名競争入札の場合、入札者名、金額及び落札者名と金額を公表しています。内訳書の開示についても実施の方向で検討しています。最低制限価格は国交省の算出基準を適用しています。積算等に誤りが認められた場合は入札を中止し、設計、積算をやり直し再入札としています。

問 工事監理及び評価について、完成した構造物等は町の財産となり優良な建設業者の存在と育成は町の発展に極めて重要。工事管理者の配置など業者の施工体制の把握はしているのか。また完成工事に対する評価を行うべきでは。そして高度な専門性が求められる監理業務については、先の土木振興会のような組織の設置が必要ではないか。

町長 施工計画書により施工体制を確認しています。実績はコリンズ登録で把握しています。工事評価技術者の育成、外注及び専門職の臨時雇用等に頼らざるを得ない状況にあり今後調査、研究していきます。

問 建設業界は疲弊している。積算は、

県単価を採用しているのだから、最低制限価格の設定は県の基準に引き上げるべきでは。

町長 限られた予算の中で、いろいろな方々と協議してまいりたいと、今日の意見を本当に真摯に受けとめます。



入札の様子（模擬）

農業振興策について

問 当町では多くの町民が農地を保有しその84%が兼業農家である。機械化が進んだとはいえ兼業での農業は大変であり、それなりの対価が得られるわけでもないこうした現状が後継者及び若者から敬遠されていると思われる。農業後継者不足対策、遊休農地活用への施策、また農業インフラの整備、農地改良等に取組む考えは。

町長 農業次世代人材投資事業と新規就農支援事業等により就農者の確保を図っています。利用されない農地については各種交付金の活用により解消に努めています。また山腹水路の整備により安定化集約化が計れるよう検討しています。水路や農道の保全、管理、施設の長寿命化等地域や団体が協働活動を実施することで受けられる多面的機能支払交付金制度の活用を推進しています。

成人式の今後は

西部 元和



町長 もう二度自分の生まれ育った地元や自分の人生を考える二つのきっかけにしたい

佐久穂小中学校の国際化教育について

問 2019年度のラグビーワールドカップを国際化教育に利用する予定はあるか。

こども課長 2019年ワールドカップ開催に伴い、佐久穂小中学校としては、ワールドカップに直接的にかかわる独自の取り組みは今のところ考えていませんが、姉妹提携を結んでおります府中市との関係の中で、国際理解の機会ができればいいと考えています。過日、府中市教育委員会指導主事がおみえになった折もワールドカップの話題になり、これから府中市の中学生がどのようにかわっていくかの検討を始めるとのことでした。佐久穂町の子どもと一緒に応援ができればと投げかけておきました。

成人式・30歳の成人式について

問 2014年度の民法改正後の成人式や30歳成人式をどうするか。

生涯学習課長 基本的に18歳という年齢がまだ学生だということとで、一般的に考えると実施するのは無理ではないかという見解を持っています。ですから、今の現状である20歳の成人式を

問 2020年度の東京オリンピック・パラリンピックを国際化教育に利用する予定はあるか。

こども課長 県教委からの投げかけがあれば、町も積極的に受けとめて佐久穂町の子どもがオリンピック・パラリンピックを通じて、国際理解にどうかかわれるか、学校とともに進めていきたいと思っております。



これからずっと継承していきたいというのが、率直な思いであります。

総合政策課長 30歳成人式については、同窓会支援補助金による金銭的な支援を行った上で、これから相談をしながら決めていきたいと考えております。成人年齢の引き下げに伴って対象年齢等を変更する、あるいは中間年齢に設定するということは現時点では考えておりません。

意見 新しい佐久穂町の成人式の形や、成人になっても佐久穂町にかかわれるきっかけや企画づくりを一緒に考えていければと思います。

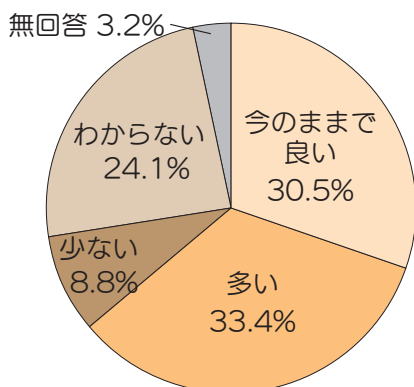
議会議員も元気をもらいました



おわびと訂正

2018 ⑥議会だより第53号 P6「佐久穂町議会に関するアンケート調査」Q15の円グラフが間違っておりました。おわびして訂正いたします。

Q15 現在の町議会議員の報酬は月額18万5千円ですが、どう感じますか



割合の数字が正しいもので、円グラフの面積が不適切でした。

視察及び研修活動等の報告

1. 中部横断自動車道建設促進佐久地域議員連盟 平成 30 年度総会

- 日 時：平成 30 年 7 月 17 日（火）
- 場 所：南牧村中央公民館 大会議室
- 概 要：佐久地区の市町村議員 88 名、県議 6 名の参加の下、依田明善会長のあいさつに続き、長野県建設部長から八千穂高原 I C 以南の長野県内の 1 キロ帯が決定した事が報告されました。総会では本道路の更なる整備推進が決議されました。

2. 平成 30 年度町村議会議員研修会

- 日 時：平成 30 年 7 月 20 日（金）
- 場 所：伊那市 長野県伊那文化会館
- 参 加：本研修会は長野県議会議長会主催の議員研修会で、県内全域から多数の町村議会議員が参加し、佐久穂町議会からは 14 名全員が参加しました。
- 概 要：この日は、山梨学院大学法学部 江藤俊昭教授が「これからの町村議会のあり方：2つの意味での急展開を踏まえて」と、長野県立大学 田村 秀教授が「観光による地域振興」と題して講演頂きました。
江藤教授は議員のなり手不足の要因や課題、総務省が設置した「町村議会のあり方に関する研究会」の報告について講演されました。一方、田村教授は観光による地域振興について、群馬県みなかみ町の取り組みや自身が関わった B1 グランプリの展開とまちおこしの事例などを紹介しました。

3. 平成 30 年度佐久地域問題研修会

- 日 時：平成 30 年 8 月 17 日（金）
- 場 所：南牧村 ハケ岳グレイス ホテル
- 概 要：この研修会は南佐久郡町村会主催により南佐久 6 ケ町村の職員と議員が一堂に会し地域の共通の問題や事案を研修するものです。
この日は前総務事務次官で現在は㈱野村総合研究所 顧問の佐藤文俊氏が「地方行財政の課題」と題して講演されました。
佐藤氏は政府の地方行財政運営に関する各種委員会の報告を基に、地方財政の課題、地方税制の課題、そして地方行政の課題について、国の政策展開に伴う地域の課題・問題点について解説され、興味深い研修となりました。



4. 群馬県上野村議会交流会

- 日 時：平成 30 年 10 月 2 日（火）
- 場 所：群馬県 上野村
- 概 要：毎年交互に訪問し、共通課題への対処や産業・観光施設の視察など交流を深めるもので、今年は当町が上野村を訪問いたしました。
この日は上野村が今年から導入した「はなまる授業」の取り組みの説明を受けた後、地方創生拠点整備交付金を得て整備した「山の駅」川和自然公園総合案内所や、総工費 8 億 9 千万円を投じて整備中の「道の駅」上野を見学し見聞を広めました。



本議会では平成 29 年度佐久穂町一般会計歳入歳出決算など 10 件の決算認定案件及び 30 年度一般会計補正予算など 16 件の議案他承認案 2 件などが上程され、総務文教委員会及び経済福祉常任委員会のそれぞれ所管する案件が付託されました。常任委員会ではそれぞれ 9 月 13 日・14 日の両日にわたり慎重審議の結果、全案件が認定及び可決すべきものと採決されました。

■ 経済福祉常任委員会

平成 29 年度佐久穂町一般会計歳入歳出決算

健康福祉課、産業振興課、建設課が所管する歳出事項の概要は次の通りです。

健康福祉課関連では、民生費 17 億 3216 万円の内、
 社会福祉費：11 億 4854 万円
 老人福祉費：3 億 6875 万円
 障害福祉費：2 億 8694 万円

の決算が説明されました。主な歳出項目としては、社会福祉費では、八千穂福祉センターのボイラー補修費 2017 万円、臨時福祉給付金 3424 万円、老人福祉費では、地区公民館の介護予防拠点整備事業補助金 7650 万円、障害福祉費の障害福祉サービス給付費 2 億 5090 万円などとなっています。

産業振興課関係では、農林水産費、商工費、で、主な歳出は、

農業費：2 億 6291 万円
 林業費：1 億 2751 万円
 商工費：1 億 6548 万円となりました。

建設課は土木費の総額で、10 億 5341 万円の歳出で、主な歳出項目は、

土木管理費：1 億 2876 万円
 道路橋梁費：4 億 4057 万円
 下水道費：4 億 6417 万円 となっています。



建設課では説明に先立ち、昨年度工事を行った馬越地区の幹線水路整備工事や町道海瀬穴原線の工事箇所(写真)など 4 カ所の現地視察を行いました。上区の池の尾橋の改修工事は、新工法採用により、工費圧縮が図ったとの事でした。

平成 29 年度索道事業特別会計決算

索道事業(スキー場)特別会計では、

歳入：1 億 1849 万円、
 歳出：1 億 1845 万円

となりましたが、一般会計借入金と公債費(償還金)を除いた実質収支は今年も、4617 万円の赤字経営となりました。



歳入面でジュニアランドの収入が伸び悩んだこと、歳出面では平日の第 4 リフトの運転中止など様々な営業努力の説明がありました。

昨年比約 100 万の収益改善は有りましたが、赤字体質の脱却には至っておりません。

直営営業が最終年となる見込みで、更なる営業努力への要望が寄せられました。

平成 30 年度一般会計補正予算

総額 2 億 1378 万円の補正のうち、本委員会所管分の主な補正は歳出で、老人福祉費で 650 万円の減、土木費で 1672 万円の増額補正です。土木費は道路橋梁費で宮前橋歩道部の桁下塗装工事を、前年工事に併せて実施しコスト削減すべく工事を計画した旨の説明がありました。

「平成 29 年度一般会計歳入歳出決算」 審議での質疑・意見事項の一部

- Q. 八千穂高原の花木園・マレットゴルフ場は年々入場者が減少しているが、運営改善の見直しできないか
- A. 八千穂高原での親子連れを狙った施設ですが、今後さらに施設の点検整備を進め集客増を図ってまいります。

意見. マレットゴルフ場の看板も草に隠れ見えなくなっています。園内の草刈り管理など一層の整備をお願いします。

■ 総務文教常任委員会

平成 29 年度一般会計決算

歳入決算額は 8,094,494 千円、歳出決算額は 7,804,337 千円、翌年度繰越額 39,729 千円であり、差し引いた実質収支額は 250,428 千円の余剰が生じ、基金に 126,000 千円を積み立てました。

問 全国町村会災害対策費用保険料 (625,470 円) とは
答 避難指示・勧告を発令等したことによる、避難所の設置、食品の給与等の費用を負担することによって被る損害に対して保険金が支払われます。

問 政策アドバイザーの今後は
答 H31 年度までで、一旦検証します。

問 小水力発電は
答 今年水量を図り、事業性がある結果が出ればスタートします。町の補助率 $\frac{1}{2}$ です。

問 同窓会事業の見直しは
答 25 歳から 45 歳までを 70 歳までと引き上げました。

問 税金滞納者に訪問し状況の確認を
答 納税相談等で最低限の生活を守るということで対応しています。

問 ホームセンターでの有価物回収について
答 強いて町が立ち入ることではありません。

問 蜂の巣駆除の対応は
答 公共施設は町で、個人は業者を紹介します。

問 こどもセンターの交付税参入率は
答 48.7 パーセントです。

問 財産処分に伴う交付金の返金とは
答 H21 年に中央小学校の改修工事を補助金で行ったが、学校が廃止となった為です。

問 正月用門松印刷代 12,000 枚の理由
答 旧八千穂村は昔から 1 戸に 4 枚配布しています。

問 生涯学習館外周草刈り委託料は
答 職員が平地を刈り、のり面は危険が伴うので業者に委託します。



生涯学習館 茂来館

平成 29 年度特別会計決算

○国民健康保険特別会計

歳入総額 1,418,202 千円、歳出総額 1,417,008 千円、差引残高 1,194 千円、収入未済額は 43,559 千円で、前年度比 13,300 千円の減少です。

条例の制定

○新庁舎の位置を現庁舎と同じ、大字高野町 569 番地とする。

○役場出張所を名称：佐久穂町八千穂福祉センター内出張所、位置：大字畑 143 番地 1 とする。

平成 30 年度一般会計補正予算

補正額 213,774 千円増額し、予算総額 8,282,372 千円です。

問 「道の駅」について

答 旧佐久西小・八千穂中の仮置き土を埋めるまでは無償予定、土は足りないが、できる限り年度末までに埋める予定です。

財産の取得について

「道の駅」用地の取得予定額 145,053,015 円
旧臼石荘用地の取得予定額 19,354,632 円です。

問 「道の駅」用地の取得予定額の根拠は

答 不動産鑑定士により宅地並みとして鑑定、造成費用を引いた価格です。



八千穂 IC 周辺

条例の制定

問 部活指導員とは

答 現在 2 名、1,600 円 / 時、1 名あたり 210 時間 / 年 (1 回 2 時間 × 3 日 / 週 × 35 週) 教員免許不要、出張費用は支払われます。

その他

○こどもセンター中庭の整備について

主に芝生とウッドチップが敷き詰められブルーベリーが植栽されます。砂場が設置されます。



農業はTry&Errorの繰り返しが 知的ゲームのように面白い!!

「のらくら農場」主宰 萩原 紀行 さん

がんばる
さくほの
チヨー民



佐久穂町に新規就農者として移住して22年目の佐口在住の「のらくら農場」主宰・萩原紀行氏。今では6人の年間雇用を実現している。当町において新規就農者の師として彼を慕って集う若者も多い。そんな中で農業者のコミュニティをつくりこの地で農業が「産業」として確立できるよう日々努力を続けていらっしゃる萩原氏にお話を伺いました。

■就農のきっかけは何だったんですか？

東京の会社で営業の仕事をしていて身体を壊しまして、園芸療法の方から興味をもって作業としての農業に入ったんですが、産業としての農業そのものが好きになったということです。

■その魅力はズバリ何でしょう？

小さい工夫の積み重ねが必ず結果として返ってくる。土の中で起こっているメカニズムとか植物の生理を勉強すればするほど、ちゃんと単年の結果として返ってくるというか、「Try(挑戦)&Error(失敗)」の繰り返しが知的ゲームというか、非常に面白いですね。

■今はどんなことに取り組んでいますか？

3シーズン目に入ったんですが、佐久穂町では6・7・9・10月に作りやすいため見事に鍋の季節を外していて需要「〇」の春菊を「生で食べておいしい春菊を作ろう」ということになったんです。そこで香りと味の濃い鍋用品種を栽培研究により肥料設計であまり苦くない栽培をし、最初は廃棄も余儀なくされたが3年目の今年は生産が追い付かない状態です。

■売り込みはどのようにしていますか？

カタログにすぐに載せられるようにスタッフが考えたレシビをグーグルのウェブ上に文章と画像を



出荷作業後のスタッフと

どんどん載せちゃうんですよ！それとパッケージも自分たちでデザインをして、今度はパッケージシリーズを作って、その種類が増えてくるとロゴが売り場で目立つようになると、今度は相乗的にケールを栽培するようになり、求められていないものを自分たちで作ったというところはチームが結束するのにはいい機会でしたね。

■農場外のチームづくりは？

自分のところ一軒では世の中の広がりとしては無いので、佐久穂町の新規就農者と一緒に作って、今は5軒で共同出荷をしているところなんです。栽培も考え方を一にし、ておき、ゴールを決めておいて、各圃場の土壌分析・栄養価分析に基づき、それぞれの肥料設計を突き合わせる。それを皆で共有して栽培量を増やしていった全員が揃っていいといった形が出来ているところです。

■今抱えている問題は？

期間アルバイトで来てくれた良い人材に通年雇用として留まってい

もらいたい。それにはまだまだ自分分は力不足です。あとは物流ですね。これからは物流便を組めるくらいにネットワークで物流の血脈を整えないと何もできない！それから農地の問題ですね。子育てをしていく農業者を育てていくとしたら、この町の場合は畑地だと思

うんです。それには休耕田の排水対策を整えて畑地化がスムーズに進められる体制づくりが必要ですね。あとは畦畔の草刈ですね。畦畔の管理が追いつかないのが申し訳なく、頭を悩ませております。やって当然なのですが、よく見ると専業農家さんほど管理が追いつかない現状も正直あると思うのです。この時代に、農業一本で食

っていくのは本当に難しい。根性で解決するだけでは無理がある気がしております。圃場内管理と畦畔管理を分離して考え、それを外部委託する形で、請け負う業者さん

も産業として成り立つ形を作れないものかと考えております。オフイスの清掃業があるように、ファームスイーパー（農場掃除人）のような産業が生まれて、連携できたらいいと思います。

■これからの方向性は？

大手スーパーさんからも声がけをいただいたんですが、軽やかに舵を取っていくのに中量生産が今の僕らには合っている気がします。考え方が共感できる中量の業者さんとお付き合いをしていきたいですね。

■新規に農業を目指す若者の為、そして、佐久穂町の為、これからも新しくできる面白い農業の発信をお願いしたいところです。（聞き手 島崎規子）

◆編集後記◆

本誌を手にとっていただくように、その時々身近な情報を、表紙の写真に載せています。

一般質問は、質問者が質問内容を事務局に提出、それに対する答弁は町長及び担当課長等が作成しています。

「議会だより」の一般質問の原稿については、各議員に原稿依頼をし、広報委員はその確認をしながら、他の記事の執筆に力を注いでいます。

議員が、一般質問で何を町長に聞いた、町長からいかなる約束を取り付けたか見てほしいと思います。

この「議会だより」は4300部作成し、1部当たりの印刷製本費は約34円です。

今年も9月号に関しては、教材としての9年生にも配付する予定です。「議会だより」に対しては、熱い思いがあり、より良い広報誌を作ろうという気持ちでこれから切磋琢磨しながら、すべての年代の皆さんに読んでいただけるよう「見やすい・読みやすい・誌面づくり」を目指し、今後も工夫を重ねていきたいと思っています。

広報編集調査特別委員 石井 正行